

一般質問



宮川 勇 議員



録画映像

北斗市の農業に関する件

問 生産者米価が大幅に下落した場合の市の対応は

答 市長
国の需給調整などにより対応されるべきだが、市としても関係機関と情報共有し、動向を注視する

問 本市の農業生産に関わることにについて、お聞きます。

(1)米価については、昨年、価格高騰により政府備蓄米の放出、混乱が続きました。一方、本年は米余り、価格下落も憂慮しており、生産者、流通業者、消費者三方が納得のいく市場価格が形成されていくことを願っています。

さて、本年の生産者米価が大幅に下落した場合、まずは国が対処することになると思いますが、市としてもその準備をしておくべきと考えますが、市の考えをお聞きます。

(2)灌漑用水については、現在、大野ダムと上磯ダムを接続する工事が進んでいますが、工事の進捗状況と、本年、用水不

足が起こった場合の対処について、どのように考えているのか伺います。

答（市長） (1)本市の生産者においては、水稻を基幹作物としながらも、米と多様な野菜や花き栽培を組み合わせた複合経営を推進していることから、農業経営におけるリスク分散や所得の安定化が図られているものと認識しています。

米価格については、国の需給調整や経営安定対策により、対応されるべきものであり、本市としても、北海道、新函館農業協同組合など関係機関と情報共有し、今後の動向を注視してまいりたい。

また、国においては、令和9年度以降の水田政策の見直しについて、現在協議が進められているところです。

本市はこれまでも、農業資材価格の高騰対策など、経営の安定化に向けた各種施策に取り組んでおり、現在においても直播栽培や密苗栽培など、育苗・移植作業の省力化・効率化を図る技術導入に対し、北斗市農業機械等導入支援事業補助金の活用を促し、労働時間と資材の削減を図り、米価下落時にも対応可能な経営体質づくりを支援しています。

今後においても、米価や農業情勢の動向を注視しながら、関係機関と連携し、地域農業の安定的な経営に向けた支援に努めてまいりたい。

(2)大野ダムと上磯ダムに関連する整備に

については、国の国営かんがい排水事業北斗用水地区として、令和7年度に事業着手地区として採択されたところです。

令和8年度については、野崎幹線水路工事のほか、流域変更水路や大工川幹線用水路等の測量・設計業務が予定されており、上磯ダムの用水量不足解消に向け、流域変更水路の測量設計を優先的に進める方針と伺っており、本事業による施設更新や流域変更水路整備によって、将来的な用水不足リスクの軽減につながるものと期待しているところです。

また、本年の用水状況については、雪解けが早かった影響により、山間部からダムへの流入量が例年より少ない状況となっているほか、降雨量についても少ない状況が続いていることから、今後の降雨状況などを注視しているところです。

今後、関係機関と連携し、貯水量や取水状況の把握、必要に応じた節水調整等に努めるとともに、引き続き、農業生産に支障を来さないよう、安定した農業用水の確保に努めてまいりたい。



灌漑用水にも利用されている上磯ダム

当市が管理している街路灯に関する件

問 なぜ、これまで修理、交換ができなかったのか

答 市長
冬期の施工を避けた工程調整及び資材の塗装等に時間を要した

問 当市が管理している街路灯（本町、ポール番号0S1021）について、お聞きます。

(1)破損の日時と原因について。

(2)なぜ、これまで修理もしくは交換ができなかったのか。

答（市長） 当該街路灯は、本町2丁目地内、道道大野上磯線の歩道に設置されている、当市が管理する街路灯です。

(1)破損の日時と原因については、令和7年7月20日、午後10時頃に走行中の乗用車がハンドル操作ミスにより、当該街路灯に接触し、破損したものです。

(2)これまで修理もしくは交換ができなかった理由については、街路灯の製作に約3カ月を要することに加え、冬期の施工を避けた工程調整及び資材の塗装等に時間を要したため、6月15日、16日に修繕工事が行われる予定となっています。